

健 健 発 0420 第 1 号
健 感 発 0420 第 1 号
基 安 労 発 0420 第 1 号
令 和 4 年 4 月 20 日

一般社団法人 日本経済団体連合会 会長
十倉 雅和 殿

厚生労働省健康局健康課長
(公 印 省 略)
厚生労働省健康局結核感染症課長
(公 印 省 略)
厚生労働省労働基準局安全衛生部労働衛生課長
(公 印 省 略)

従業員に対する風しんの抗体検査の機会の提供について（協力依頼）

平素より、厚生労働行政につきまして、格別の御配慮を賜り厚く御礼申し上げます。

平成30年7月以降、特に、大都市圏を中心に風しんの患者数が増大したこと等を受け、風しんの感染拡大を防止するため、令和4年3月31日までの間に限り、これまで風しんの定期の予防接種を受ける機会がなかった昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性（令和4年4月時点で43歳から60歳。以下「対象者」という。）を対象とした「風しんの追加的対策」を実施することとし、「従業員に対する風しんの抗体検査の機会の提供について（協力依頼）」（令和2年1月30日付け健健発0130第1号・健感発0130第1号・基安労発0130第1号厚生労働省健康局健康課長・結核感染症課長・労働基準局安全衛生部労働衛生課長通知）により、これまで御協力をいただいているところで

す。

「風しんの追加的対策」については、対象者の抗体保有率を令和3年7月までに85%、令和4年3月までに90%に引き上げるという目標を掲げており、当該目標を達成するためには、抗体検査を令和3年7月までに約480万人、令和4年3月までに約920万人に受けていただく必要がありますが、新型コロナウイルス感染症に伴う受診控え等の様々な影響により令和4年3月までの目標達成が困難であることから、第57回厚生科学審議会感染症部会及び第46回厚生科学審議会予

防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会（令和３年12月17日開催）において、「風しんの追加的対策」の目標の期限を令和７年３月末まで延長、また、追加の実施率向上の取組を別紙１のとおりご了承いただいたところです。

ついで、風しんに係る抗体検査及び予防接種の実施率向上に向けて、各事業場において、従業員のうち対象者が風しんの抗体検査を受検できる環境を整備する等のため、別紙２及び３を各事業場の責任者に御送付いただくとともに、下記の通り、各事業場において御協力いただきたい事項を改めてまとめましたので、御了知の上、関係者等へ周知していただきますようお願いいたします。

記

- 1 対象者に対して、クーポン券を利用して無料で風しんの抗体検査を実施できる機会を提供いただきたい。

具体的には、定期健診の機会に併せて抗体検査を実施できるよう健診の委託先・連携先等と体制を整備すること、職員が集団で抗体検査を受検できるよう、定期健診とは別の機会を設けること又は人間ドック等を受検する職員に対し、風しん抗体検査の受検を勧奨すること等が想定される。

※ クーポン券は、令和元年度から令和３年度の間にはクーポン券を使用しなかった対象者に対し、令和４年４月以降、市区町村から一斉に配布されます。なお、一部の自治体については、新たにクーポン券を配布せず、配布済みのクーポン券の期限延長（紛失等で手元にない場合は再発行）による対応となる予定です。

- 2 各事業場においてクーポン券を利用して無料で風しんの抗体検査を実施できる機会を提供するために、都道府県の担当部局から個別の説明等を希望される場合には、<https://www.mhlw.go.jp/form/pub/mhlw01/fushin07> 又は Fax03-3593-6251 に下記の事項を記載の上、登録いただきたい。（登録を行った場合、当該事業場の所在地を所管する都道府県の担当部局から御連絡いたします。）

個別説明希望	
事業場名	
電話番号	
メールアドレス	
担当部署名	
担当者名	
対象世代の男性の従業員数	人程度
(お困りの点等を自由記載ください)	

- 3 一部の事業場に対して、従業員に対する風しんの抗体検査の実施状況や、従業員への風しん対策の実施に対する意識について、厚生労働省から別途アンケート調査をお送りします。いただいた調査結果は、厚生労働省研究班において、外部の委託先が集計、解析を行う予定ですので、御理解・御協力いただきますようお願いいたします。

<参考>

- ・別紙1 風しんに関する追加的対策の今後について【全体概要】
- ・別紙2 厚生労働省から職員の定期健康診断ご担当者様へお願い
- ・別紙3 医療機関・健診機関への相談様式（例）
- ・別紙4 対象者への案内
- ・参考1 企業等における風しん対策の先進事例の御紹介
- ・参考2 風しんから社員とお客様を守るために（事業場向け説明資料）

【関係書類（電子媒体等）の掲載先】

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/000116890_00006.html

【お問い合わせ先】厚生労働省健康局結核感染症課 03-5253-1111（内線 2097 又は 2923）

風しんに関する追加的対策の今後について【全体概要】

経緯

- 2018年夏以降の風しんの感染拡大を受け、過去に公的に予防接種を受ける機会がなかった世代の男性を対象として、3年間、全国で抗体検査と予防接種法に基づく定期接種を実施することとした。
- 一方、新型コロナウイルス感染症に伴う受診控え、健診の実施時期の見直し等の様々な影響により、当初の見込みどおりには進んでいない。
- 今後の風しんの流行を防止するために、当初目標まで抗体保有率を引き上げる必要があるため、目標の到達時期を延長し、引き続き、追加的対策を実施。

目標

【対象】 **昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性**

- 【目標】 (1) **2021年7月まで**に、対象世代の男性の**抗体保有率を85%**に引き上げる。
 (2) **2021年度末まで**に、対象世代の男性の**抗体保有率を90%**に引き上げる。

【対象】 **昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性**

- 【目標】 (1) **2022年12月まで**に、対象世代の男性の**抗体保有率を85%**に引き上げる。
 (2) **2024年度末まで**に、対象世代の男性の**抗体保有率を90%**に引き上げる。

促進策

風しんの追加的対策の実施時期の延長に伴い、主に以下の促進策を実施。

- ①健診に合わせた抗体検査を促進する観点から、毎年、抗体検査未受検の対象者全員にクーポンを一斉送付する。
 （令和元年度～令和3年度は対象世代を分割し、クーポン券を送付していた。）
 - ②新型コロナワクチンの接種を行う医療機関や大規模接種会場において、ポスター、リーフレットを用いて啓発するとともに、新型コロナワクチンの職域接種を実施する会場に対しても周知・協力依頼を行う。
 - ③対象者の利便性の向上を図る観点から、即日、抗体検査の結果が判明する検査キットを導入する。
- ※ ただし、偽陽性を含むIgM陽性の場合に風しんの診断が必要となることに留意するとともに、IgG陰性だった場合にワクチン接種につなげるために、当該検査キットを用いる場合は、検査日に風しんの診断やワクチン接種が実施可能な体制を求めることとし、限定的に導入することとする。

職員を風しんから守るため 職場の健診を強化しませんか

「風しん」は、2018年に日本で大流行しました。そのため、免疫を持っていない可能性が高い**43～60歳の男性**（2022年4月2日時点）を対象に、原則無料で「抗体検査」と「予防接種」を受けることができるように、お住まいの市区町村からクーポン券を配布（※）しています。

この度、**無料期間を2024年度まで延長**しました！ 対象者がこの期間中にクーポン券を使用できるよう、ぜひご協力をお願いいたします。

（※一部自治体では、2019年度から2021年度に配布されたクーポン券の期限延長とする可能性があります）

43～60歳の男性は、周囲に風しんの感染を拡大させる可能性があります

「風しん」は、風しんウイルスによっておこる急性の感染症です。発熱や、咳、発疹等が主な症状で、軽症や無症状の方が多いですが、稀に重症化もします。非常に**強い感染力**をもち、**症状が出る前や無症状でも、人から人へうつる**可能性があります。妊婦の方が感染すると、生まれてくる赤ちゃんの目や耳、心臓などに重篤な影響がおこることがあります。**43～60歳の男性は、特に周囲に風しんの感染を拡大させる可能性があります。**職員を風しんから守ることは、社会全体を守ることに繋がります。

職員の健診ご担当者様へお願い

企業側の費用負担なし！

1

対象者のクーポン券を利用する機会の向上にご協力ください

忙しい働く世代の男性でも、職場の健診や人間ドックの“ついで”なら、無料の期間中に検査を受けたいと思う方も多いはずです。職場の健診や人間ドックの機会など、対象者のクーポン券の利用機会の向上に、ぜひ、今春からご協力をお願いします。

【方法その1】健診機関に風しんの抗体検査の実施可否を確認

定期健診や人間ドックの機会に、クーポン券が使えるか、職員の健診委託先の医療機関にご確認いただき、健診の委託内容に風しん抗体検査を含めていただくようお願いします。

【方法その2】職域内で風しんの集団検査を実施

健診の機会とは別に、職域内で風しんの集団検査を行うこともできます。

2

対象者へクーポン券を利用するよう呼びかけにご協力ください

職場の健診や人間ドック、医療機関受診時などにクーポン券を持参して風しんの抗体検査を受けるよう、対象者への普及啓発にご協力ください。

実施のサポートや個別説明も対応いたします

風しん集団検査を実施する方法など、ご不明な点については、個別説明も対応いたします。以下のリンク先の厚生労働省お問い合わせフォームからご質問下さい。都道府県または市区町村の担当職員から折り返しご連絡いたします。

○ 厚生労働省お問い合わせフォーム

<https://www.mhlw.go.jp/form/pub/mhlw01/fushin07>



風しん対策の更なる向上のために、従業員が1,000人以上の大規模事業場には今後アンケート調査を行わせていただく予定です。よろしければ、こちらにもご協力ください。

健診機関・医療機関に風しんの抗体検査の実施可否を確認する場合、以下の様式をご利用ください。 確認・相談がスムーズに進むよう、必要項目を含む様式例をご紹介します。

様式はこちらでダウンロード可能です https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/000116890_00006.html

健診の機会に抗体検査も実施したい場合（医療機関・健診機関宛て）

対象職員が健診の機会にクーポン券を利用して無料で風しんの抗体検査を受けられるよう、ご調整をお願いします。詳細は以下のとおりです。 【記入例】

事業場名	厚生労働省(本省)
担当部署名	厚生労働省健康局
担当者名	厚生 太郎
電話番号	03-3595-3287
メールアドレス	xxxxxxx@mhlw.go.jp
対象職員数	200 人程度
抗体検査の結果の通知 (事業場への通知を希望しない従業員がいないか、実施の案内等の際に御確認ください。)	☐ 本人にのみ通知 ☒ 本人及び事業場に通知
予防接種が必要と判明した者(陰性者)に対する予防接種	☒ 検査と同様に集団接種の実施を希望 ☐ 職場近辺の医療機関の紹介を希望 ☐ 両方
備考欄(自由にご記載ください)	

事業場内で風しんの集団検査を実施したい場合（医療機関・健診機関宛て）

対象職員がクーポン券を利用して無料で集団の抗体検査を受けられるように、御調整をお願いします。詳細は以下のとおりです。 【記入例】

事業場名	厚生労働省(本省)
担当部署名	厚生労働省健康局
担当者名	厚生 太郎
電話番号	03-3595-3287
メールアドレス	xxxxxxx@mhlw.go.jp
対象職員の数	200 人程度
希望する集団検査の時期等	【時 期】 2022年5月中旬～下旬 【時間帯】 午前中で1日に1～2時間程 【日 数】 平日5日間程度
集団検査の場所等	☐ 事業場内の診療所等 ☒ 事業場内の会議室等 (約 60 m ²) ☐ 場所なし(健診バスなどの手配が必要)
事業場の職員のサポート等	☒ 産業医 ☒ 保健師又は看護師 ☐ 事務職員
抗体検査の結果の通知 (事業場への通知を希望しない従業員がいないか、実施の案内等の際に御確認ください。)	☐ 本人にのみ通知 ☒ 本人及び事業場に通知
予防接種が必要と判明した者(陰性者)に対する予防接種	☒ 検査と同様に集団接種の実施を希望 ☐ 職場近辺の医療機関の紹介を希望 ☐ 両方
備考欄(自由にご記載ください)	

御中

(医療機関・健診機関宛て)

健診の機会に風しん抗体検査を希望しています

健診の機会に対象の従業員がクーポン券を利用して無料で風しん抗体検査を受けられるように、ご調整をお願いします。詳細は以下のとおりです。

記入例

事業場名	厚生労働省（本省）
担当部署名	厚生労働省健康局
担当者名	労働 一郎
電話番号	03-3595-3287
メールアドレス	xxxxxxx@mhlw.go.jp
対象職員数	200 人程度
抗体検査の結果の通知 (事業場への通知を希望しない従業員がいないか、実施の案内等の際にご確認ください。)	☐ 本人にのみ通知 ☒ 本人及び事業場に通知
予防接種が必要と判明した者（陰性者）に対する予防接種	☒ 検査と同様に集団接種の実施を希望 ☐ 職場近辺の医療機関の紹介を希望 ☐ 両方 ☐ その他（ ）
備考欄（自由にご記載ください）	

ご確認後、上記連絡先までご連絡をお願いいたします。

御中

(医療機関・健診機関宛て)

事業場内で集団の風しん抗体検査を希望しています

事業場内の対象の従業員がクーポン券を利用して無料で集団の風しん抗体検査を受けられるように、ご調整をお願いします。詳細は以下のとおりです。

記入例

事業場名	厚生労働省（本省）
担当部署名	厚生労働省健康局
担当者名	厚生 太郎
電話番号	03-3595-3287
メールアドレス	xxxxxxx@mh w. go. jp
対象職員数	200 人程度
希望する集団検査の時期等	【時 期】2022 年5月中旬～下旬 【時間帯】午前中で1日に1～2時間程 【日 数】平日5日間程度
集団検査の場所等	☐ 事業場内の診療所等 ☒ 事業場内の会議室等（約 60 m ² ） ☐ 場所なし（健診バスなどの手配が必要）
事業場の職員のサポート等	☒ 産業医 ☒ 保健師又は看護師 ☐ 事務職員 ☐ その他（ ）
抗体検査の結果の通知 (事業場への通知を希望しない従業員がいないか、実施の案内等の際にご確認ください。)	☐ 本人にのみ通知 ☒ 本人及び事業場に通知
予防接種が必要と判明した者（陰性者）に対する予防接種	☒ 検査と同様に集団接種の実施を希望 ☐ 職場近辺の医療機関の紹介を希望 ☐ 両方 ☐ その他（ ）
備考欄（自由にご記載ください）	

ご確認後、上記連絡先までご連絡をお願いいたします。

風しん抗体検査

43歳～60歳の男性の皆様へ
厚生労働省からのお願い

風しんの抗体検査を受けてください

「風しん」は、風しんウイルスによっておこる急性の感染症です。
発熱や、咳、発疹等が主な症状で、軽症や無症状の方が多いですが、稀に重症化もします。
非常に強い感染力をもち、**症状が出る前や無症状でも、人から人へうつる可能性があります。**
妊婦の方が感染すると、生まれてくる赤ちゃんに重篤な影響がある可能性があります。
ワクチンで風しんを予防し、自分も、周りも、未来の命も守ることに協力ください。

43～60歳の男性は、周囲に風しんの感染を拡大させる可能性があります

昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性は、定期予防接種の対象とならなかった方々です。風しんにかかりやすく、職場や家庭、人混みなどで、周囲にも感染を拡大させる可能性が高いことが分かっています。

この方々は、厚生労働省の対策により、**2024年度までは原則無料で抗体検査とワクチンを受けられる**ようになりました。

まず、ご自身が抗体を十分に持っているかどうか、**抗体検査**を受けてください。

抗体検査の結果、必要な場合は**ワクチン**を接種してください。

過去に風しんに罹患したことがあっても、幼少期に何らかのワクチンを打ったことがあっても、現時点で免疫がある（抗体価が十分に高い）とは限りません。

抗体検査を受けて、自分も周囲も安心できる環境作りにご協力ください。

自治体は、居住する**43歳～60歳※の男性**を対象に、原則無料で風しんの「抗体検査」と「予防接種」を受けられるクーポン券を配布しています。（※昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生の方の令和4年4月2日時点の年齢）

クーポン券の使いどころは**3**つ！

1 職域の定期健康診断等

職域の定期健康診断等の機会に**クーポン券を持参するだけ**※1で、風しん抗体検査もできます。
風しん抗体検査に余分な時間はかかりません。

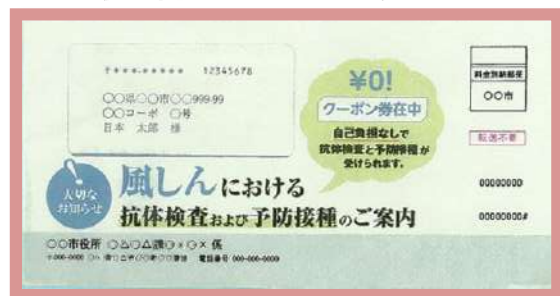
2 人間ドック

ドックを受ける時に**クーポン券を持参するだけ**※2で、風しん抗体検査もできます。

3 医療機関受診

病院に**クーポン券を持参するだけ**※2です。

自治体が**無料クーポン券**を発行しています！



※1 職場によって、対応は異なります。クーポン券使用の可否は、ご自身の職場にご確認下さい。
※2 医療機関によっては、クーポン券が使えない場合もあるため、事前にお問い合わせください。



風しん対策の詳しい情報については、厚生労働省のホームページをご覧ください。

風しんの追加的対策

検索

先進事例 1 : 株式会社キャタラー

【主な取組】

2015年：社内で風しん感染者が発生

- ・保健所及び国立感染症研究所の指導のもと、マスク着用、集団活動自粛、社内緊急説明会等により従業員の先天性風しん症候群への理解、感染拡大防止に向け対応
- ・抗体確認（個別アンケートによる調査）
- ・ワクチン接種（近隣医療機関の協力で、就業時間内に社内外で集団接種。費用の7割を会社負担）

結果：抗体保有率27%（236名）→92%（818名、自己申告含む）

2018年：風しんが全国的に流行

- ・従業員の抗体保有を再確認（母子健康手帳、接種記録により確認）
- ・全額会社負担でワクチン接種（近隣医療機関の協力で社内接種）

結果：抗体保有率99.2%（2019年時点）

2020年度以降：国の風しん対策への実施事項

- ・対象世代の従業員は、定期健診に併せて抗体検査受検を勧奨

現在

新入社員、中途入社者、派遣社員の接種状況を確認し、クーポン非配布者には会社負担でワクチン接種。

【取組の背景】

- ・東日本大震災を機に、自然災害や感染症等の脅威に備え、事業継続マネジメント（BCM）の構築を推進。
- ・会社の最優先事項は、「人命・安全最優先」「地域社会への貢献」及び「お客様への確実な供給継続」である。



2015年の風しん発生時、全従業員へ緊急説明会を実施



職場での集団接種の様子。予約制により離業時間を短縮。
定期健診、ストレスチェックなどと同時開催

【皆様にメッセージ】

風しんは感染力が強く、感染者が発生すると本人はもとより家族、お客様にもご迷惑をおかけし、事業活動に大きな支障が出ます。

弊社は、働く皆が安心できる環境を整え、家族や仲間を守り、先天性風しん症候群を発生させない社会を築けるように、現在も対策を継続しています。

風しんはお子さんやお孫さんまで辛い思いをさせてしまう病気です。クーポン受領者はもとより、すべての皆さまが企業健診や集団健診などを利用して抗体検査を行い、「風しんゼロ」の社会を築きましょう。

先進事例 2 : ピジョン株式会社



【主な取組と結果】

- 2019年・風しんについての「教育講演」を社員向けに実施
講師は医師2名と風疹をなくそうの会『hand in hand』3名
 - ・抗体検査及びワクチン接種（会社負担）を社員に呼びかけ
 - ・社員への風しんの啓発活動とし従業員からの募金を実施し、風疹をなくそうの会『hand in hand』へ寄付
 - ・会社からも同団体へ寄付（以降、会社からの寄付は継続）
- 2020年・入社時の健康診断に抗体検査を追加。
抗体が足りない場合は、会社負担でワクチン接種を推奨。
- 2021年・「風しんの日」に合わせ、社内報にて啓蒙を継続
 - ・対象となる社員に対し、国からの抗体検査及びワクチン接種の無料クーポンがあることを再度、情報発信

<抗体検査・ワクチン接種の概略>

- ①2019年：会社負担で抗体検査・予防接種を呼びかけ
- ②2020年：入社時の健康診断に抗体検査を追加。予防接種推奨
- ③2021年：対象社員に抗体検査及びワクチン接種の無料クーポンを情報発信

実施結果（2022年2月現在）：対象者526人のうち、413人が受検（79%）

【取組の背景】

ピジョンでは、私たちがこの社会において存在している意味・そして果たすべき役割を「存在意義」として定め、「赤ちゃんをいつも真に見つめ続け、この世界をもっと赤ちゃんにやさしい場所にします」としています。この存在意義の元、2018年の風しんの流行を受け、育児に携わる企業として率先して取り組むべき社会課題と捉え、「ピジョン風疹ゼロアクション」プロジェクトを立ち上げました。



教育講演の様子



募金箱とポスター

【皆様にメッセージ】

- ・「教育講演」は、風しんがどのような感染症なのか、また風しんがもたらす被害の大きさを知る機会となり、社員が抗体検査及びワクチン接種をする大きな動機づけの1つになりました。接種が進まない要因の1つに風しんやそれがもたらす影響に対する認知不足があるので、まずはいかに理解度を上げるかが大事だと考えます。
- ・健診項目に入れる等の施策は、自然と受診する流れを作る上でも有効です。また、新規に入社する社員への健康診断に風しんの抗体検査を追加したり、社員への情報発信を行うなど、一時的な対策に終わらせず、地道な活動を継続的に実施することで、実を結んでいます。

止めるぞ風しん



国の風しん対策 実践セミナー

～風しんから社員と
お客様を守るために～



ひと、くらし、みらいのために
厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

健康局 結核感染症課
健康課予防接種室

企業運営のリスク・マネジメント

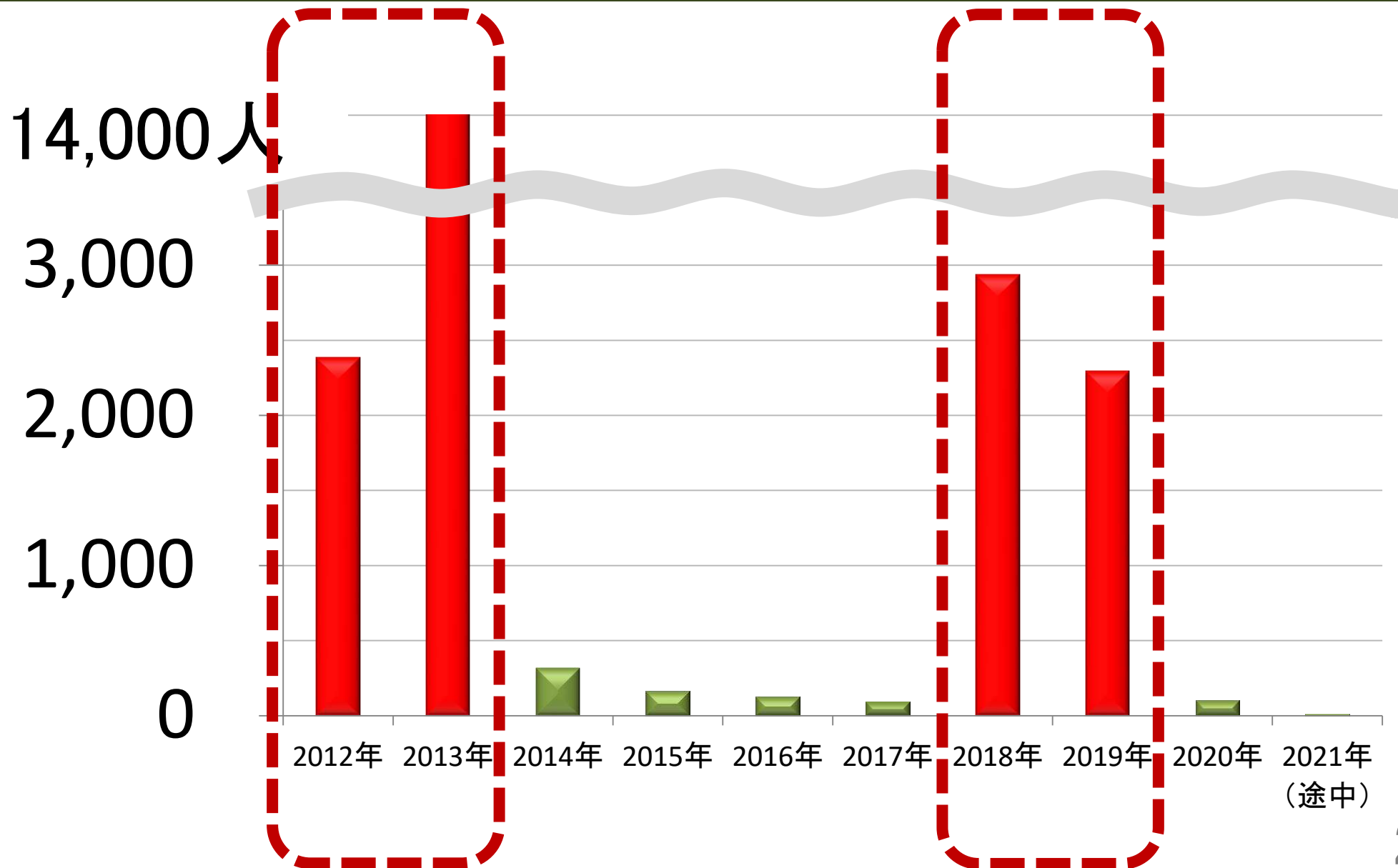
例えば、

- ・新規事業の進展
- ・取引先との関係性
- ・地震などの有事の際の対応

- ・**社内の感染症**

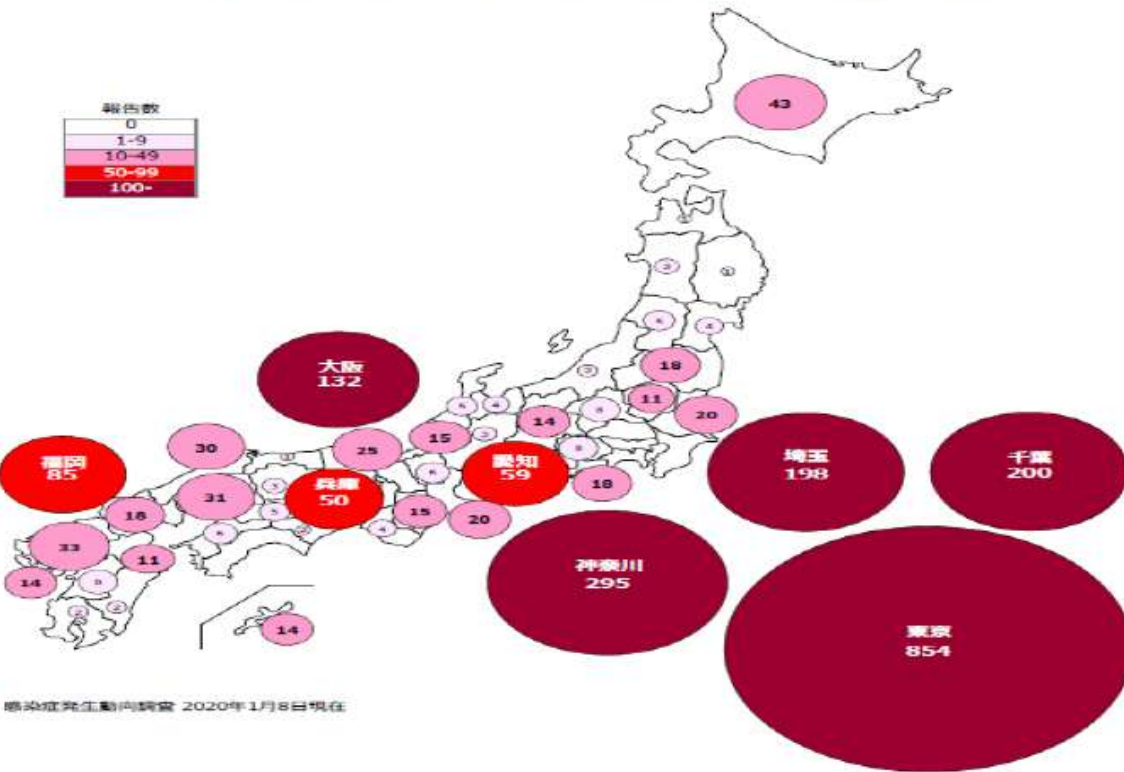
特に、『**風しん**』という感染力の強い感染症

風しんの流行状況



中心は大都市圏

都道府県別風しん累積報告数, 2019年 第1~52週 (n=2,306)



感染症発生動向調査 2020年1月8日現在

【要約】
推定される感染源は、
職場が最多。
職場内で
複数名の発症が
認められたことも。

推定感染源(抜粋)

推定感染源は、2,306 人中、特に記載がなかった者が1,653 人(72%)と最も多く、不明・不詳・情報なしと記載された者が214 人(9%)であった。

また、何らかの記載があった男性338 人の内、職場/会社の同僚/上司・職場/会社で流行・仕事等、「職場」と記載があった者が204 人で最多で、この内32 人は、職場内で流行あるいは複数名の発症が記載されていた。

職員が風しんに感染した場合

例えば、突然のお休み!?

⇒他の職員による業務のフォロー

例えば、家族、他の職員、取引先に感染拡大!?

⇒感染拡大へのリスク対応

参考

(株)キャタラーでは、客先等への訪問自粛、来訪の取りやめ依頼、創設記念式典、各種講演会のイベント中止等の対応がとられた。

リスクが高い理由

- ・インフルエンザよりも強い感染力。
- ・発疹や発熱等の自覚症状がなくても感染が拡大

特に深刻なケース



先天性風しん症候群（CRS）

- ・特に**妊娠初期**に感染した場合に出生児に高確率※で生じる障害。
- ・先天性**心疾患**、**難聴**、**白内障**が三大症状。

※**妊娠1ヶ月で50%以上、2ヶ月で35%、3ヶ月で18%**

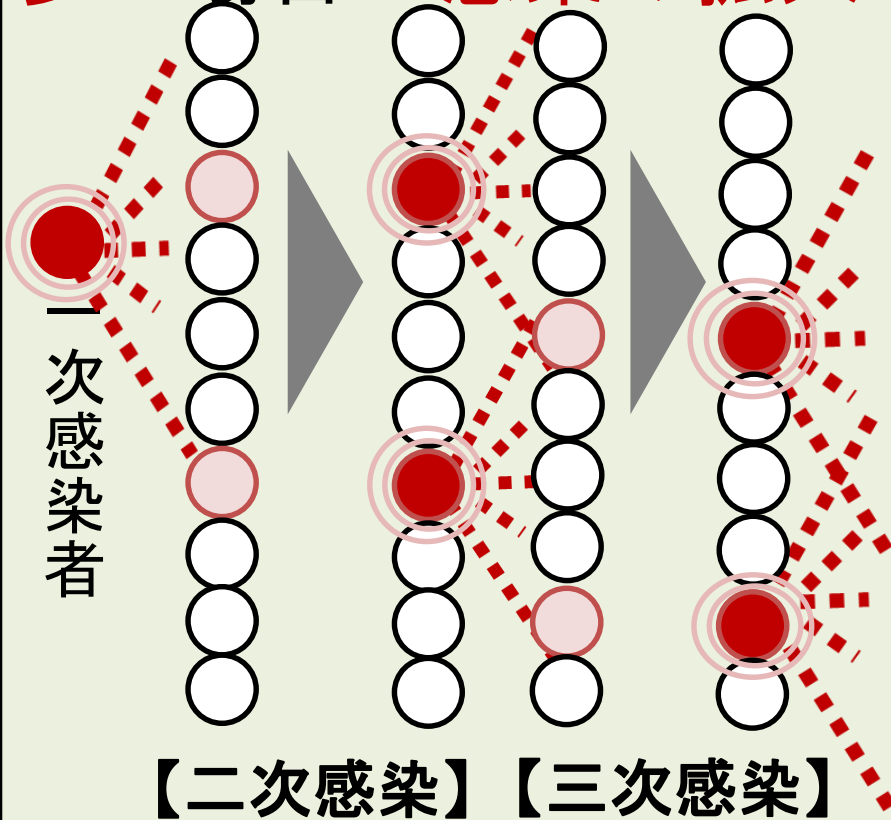
出典元：国立感染症研究所

先天性風しん症候群の児に見られる主な症状

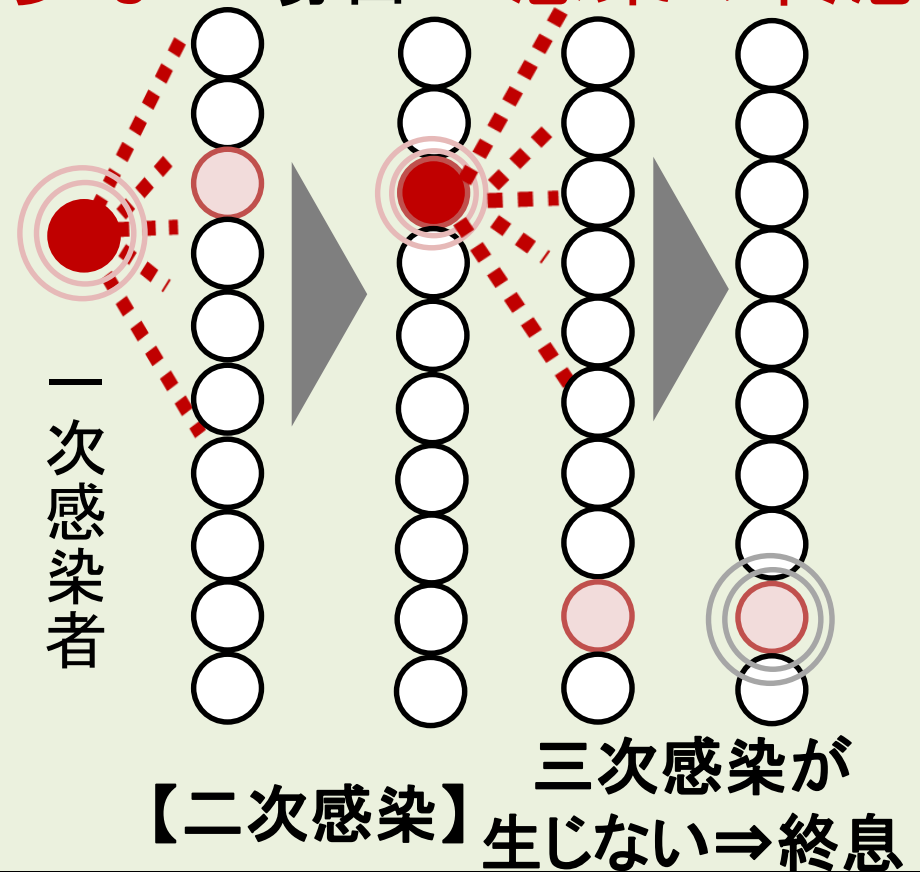


感染拡大のメカニズム

免疫を持っていない方が
多い場合⇒感染の拡大



免疫を持っていない方が
少ない場合⇒感染の終息



● 感染者(うつす) ● 免疫がない者(うつる&うつす)
○ 免疫がある者(うつらない&うつさない)

風しんへの感染リスクを減らす方法

風しんの流行は、
突然やってきます。

1976年

1982年

1987年

1992年

2012年

2018年

20??年



次は、今年かもしれません。

対象者の42歳～59歳の男性に、風しんの抗体検査と
予防接種のクーポンを送りしています。

次の流行を起こさないために、

そして、あなたと、周りの人の安心のために、
少しでも早い検査と接種に、ご協力ください！

クーポンが届いたら、
風しんの抗体検査・予防接種を！

風しんワクチンの接種の歴史

予防接種の

導入前（風しんが蔓延していた時代）

⇒ 風しんへの**自然感染&治癒により**
免疫を獲得していた世代



予防接種の

導入後（風しんが蔓延していない時代）

⇒ 風しん**ワクチンの接種により**
免疫を獲得している世代

風しんワクチンの接種の歴史

ポイントは予防接種の『導入直後』の世代
～女性だけに定期接種をしていた時代～

その世代の男性は

- ・ ワクチンを受けることもなく
- ・ 自然感染 & 治癒することもしなかった

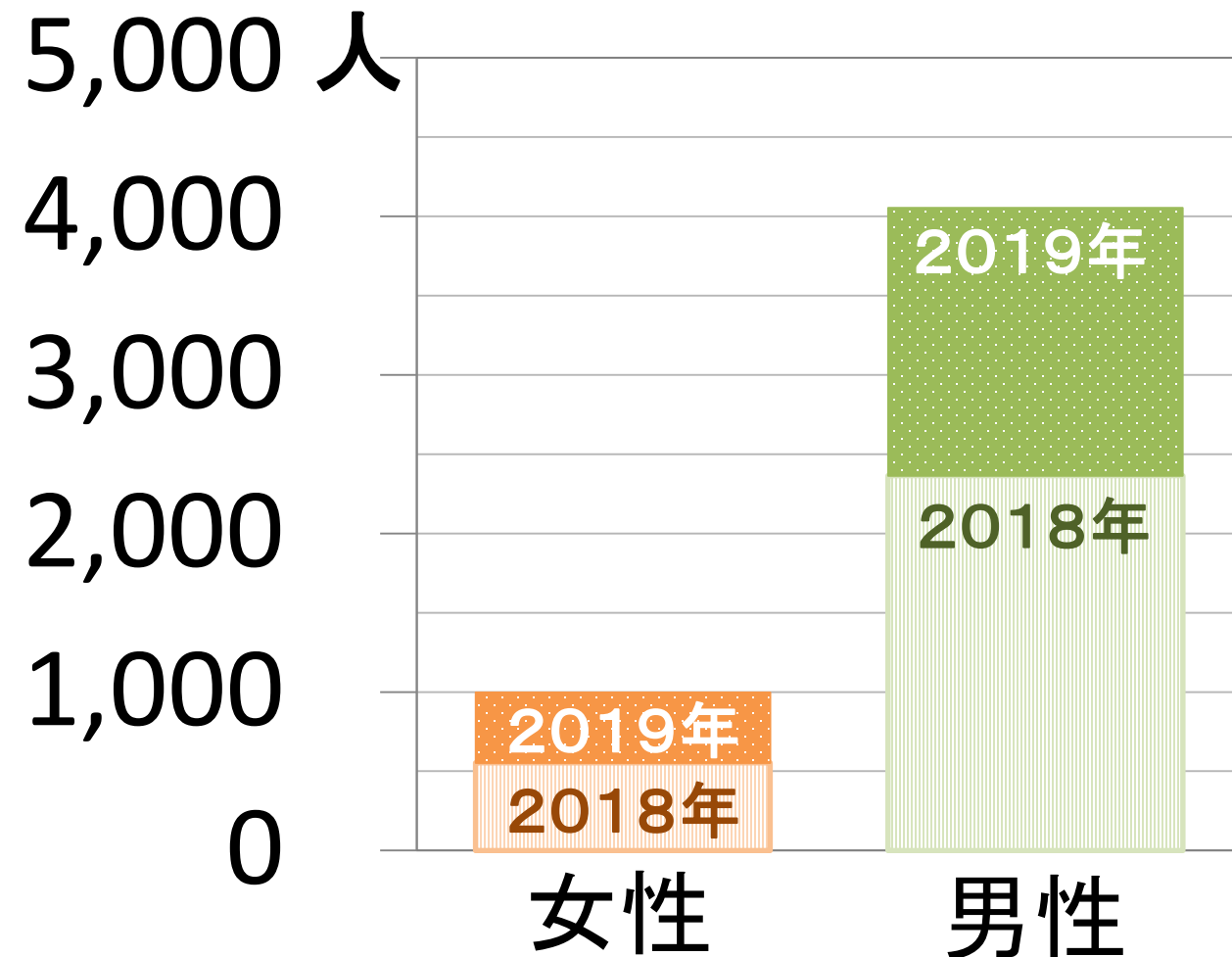
そのような方が一定数存在。

⇒風しんへの免疫がない方が他より多い。

⇒つまり、感染を拡大させやすい世代。

それが2022年4月現在43歳～60歳の男性 9

風しん患者の発生状況



特徴その1

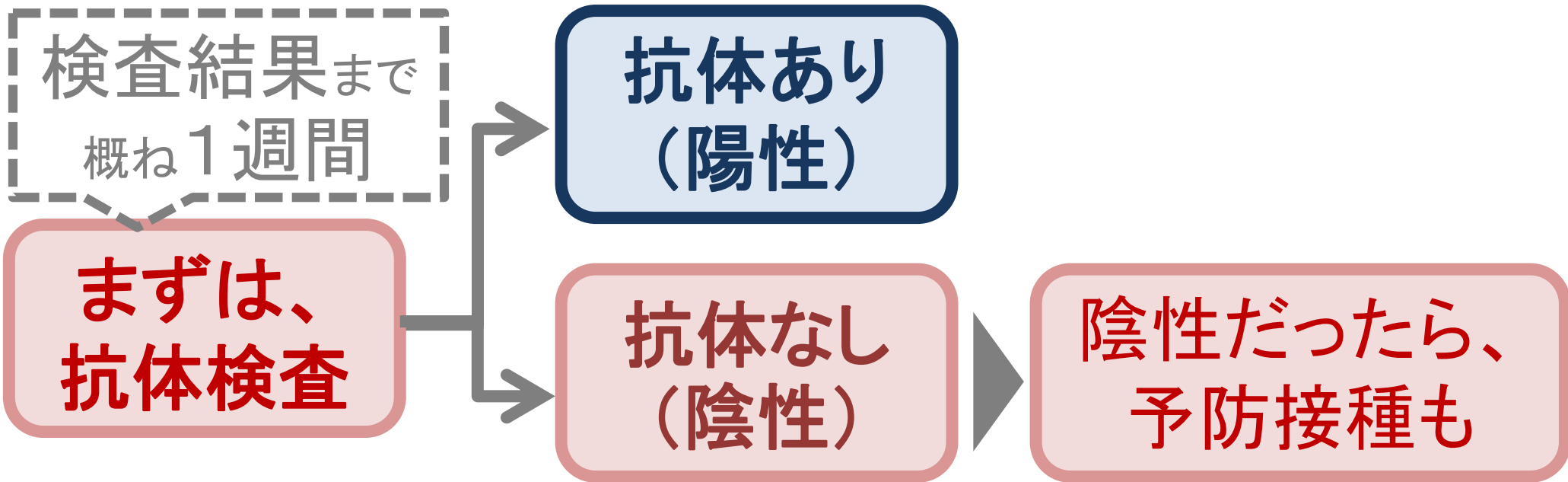
男性が中心

特徴その2

男性患者の
約半数が
40～50代

⇒患者の特徴が**女性だけに定期接種を**
していた世代と重複 ←**ココが要点!!**

国の風しん対策（2025年3月まで）



- 2022年4月現在**43**歳～**60**歳の男性を対象
- 全国で抗体検査・予防接種を原則無料で受けられるクーポン券を送付。
- **健診でも利用可能**なクーポン券

企業の皆様へのお願い

2025年3月までに
920万人に検査

2022年12月末までに
480万人に検査

2021年11月時点で
360万人に検査

- 対象世代の男性は
40歳～50歳代。
- ・ 利便性をより高めるには、**企業の協力が不可欠**。
 - ・ **企業負担なし**で風しん対策を実現可能で、**企業側にも利のある話**。

「自分のため」だけでなく、
「みんなのため」にご協力を。12